

評価項目	評価指標	具体的方策 (改善策)	評価基準				
			4	3	2	1	
確かな学力を身に付けた児童の育成	○1月の標準学力調査(CRT)の基礎問題通過率 60%未満を0に近付ける。	○条件に合わせて書く活動を通して、表現する力を高める授業づくり (振り返りを中心に) ○読書活動の充実	通過率 60%未満の割合	0~5% 未満	5~10% 未満	10~15% 未満	15%以上
	○1月の標準学力調査(CRT)の活用問題で平均正答率が全国平均を上回る。	○基礎問題通過率 60%未満の児童への個別指導の充実。 (朝・昼学習, 給食前学習, 放課後学習, 海小タイム, 家庭学習の充実)	全国平均の正答率	90%以上の教科で上回る	80%以上の教科で上回る	70%以上の教科で上回る	60%以上の教科で上回る
気持ちの良い挨拶ができる児童の育成	○教職員に気持ちの良い挨拶ができる児童 90% ○来校者に気持ちの良い挨拶ができる児童 80% ○地域の人に気持ちの良い挨拶ができる児童 75% ○友達に気持ちの良い挨拶ができる児童 70%	○挨拶広げ隊の発展 (挨拶運動, 啓発, 推進会議) ○登校班の育成 (登校班長指導, 登校班表彰) ○表彰(ファーストペンギン賞) (常時, 挨拶のきっかけになっている児童の表彰) ○振り返りの充実 (自己評価, 挨拶の意義の確認)	児童の評価を踏まえた教師による見取り	80%以上	75%以上	70%以上	70%未満
人や時間を大切にすることができる児童の育成	○次の授業の準備をしてから休憩することができる児童 95%以上	○意識の向上, 持続 (次の授業の準備をすることの意義の説明, 全校指導, 学級指導等による啓発, 評価) ○教員の意識徹底 (休憩時間の確保, 授業終了時刻の厳守) ○振り返りの充実 (自己評価, 次の授業の準備をすることの意義の確認)	教師による見取り	95%以上	90%以上	85%以上	85%未満
進んで運動し体力を高める児童の育成	○縄跳びの自己目標を達成することができた児童 80%以上	○体育の授業の始めに縄跳びを中心としたサーキット運動に取り組む。 ○外遊びでの縄跳びの奨励 (大休憩, 学級タイム, ロング昼休憩等に強化週間を設ける。) ○縄跳びなどの運動の良さの紹介(体育朝会等)	縄跳び自己目標達成カードを用いた評価	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満
元気に学校へ来ることができる児童の育成	○大休憩後, 給食前に手洗いをする児童の割合を100%に近付ける。 ○早寝早起きができる児童の割合を80%以上	○手洗いの奨励。 強化週間の手洗いカレンダー実施。 ○早寝早起きの取組 学級活動や保健の授業, 生活リズムカレンダーの取組, 児童朝会での保健委員会による啓発等	手洗いをすることが習慣になっているといえる児童 80%以上 生活リズムカレンダーの早寝早起きの項目においてA評価の児童 80%以上	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満
業務改善	○時間外勤務 45時間以内の職員の割合を50%以上	○水曜日は原則定時退校。 ○分掌で出た意見を基に改善に向けて整備を進める。 ○企画委員会や部会の時間を使って並行作業を行う。 ○学期末に評価に関する事務を行う日を設定する。	入退校時刻記録を基にした時間外勤務 45時間以内の職員の割合を50%以上	80%以上	50%以上	30%以上	30%未満